

創薬支援推進事業
創薬シーズ実用化支援基盤整備事業 中間評価報告書

研究開発課題名	キャタリストユニット
代表機関名	国立大学法人東京大学
研究開発代表者名	堀 正敏
全研究開発機関	平成 29 年度～令和 3 年度（予定）

1. 研究開発概要

アカデミアの持つ多様な基礎研究は、創薬シーズに直結する研究のみならず、創薬エコシステムを実現するための Translational Research (TR) に繋がるような、より基礎的な基礎生物医学研究 (Translational science; TS) が潜在している。また、同様に毒性や測定技術、評価法、体内動態、倫理など Regulatory science (RS) の根幹に役立つ研究も多数含んでいる。本ユニットでは、これら TS や RS 研究のアカデミアからの発掘を促進し、アカデミアと国家行政機関ならびに各種医療関連企業が、創薬とその RS における論壇の場を作り互いにハーモナイズと振興を図ることを目的とする。本事業ではこれらを実現するために、① e-Journal; Translational and Regulatory Sciences “TRS” の創刊、② TRS シンポジウムの主催、AMED との他のシンポジウム開催・共催、③ TS と TR、産官学を繋ぐ総合 Web site の構築、④ AMED 事業の広報活動、の 4 つの事業を展開する。

2. 研究開発成果

- ① 新しい e-Journal、TRS を創刊：8 月 19 日に TRS を創刊した。編集委員長に米田悦啓先生（医薬基盤研理事長）、副編集委員長に近藤裕郷先生（同研究所長）と堀正敏（東京大学）が着任し、各分野の編集委員 29 名（うち外国人 3 名）が選定された。年間 3 号の発刊を目指す。
- ② TRS シンポジウムなどの開催：2018. 10. 9 創薬支援インフォーマティクスシステム構築（CBI 学会スポンサードセッション）（援助）、2019. 1. 24 産学官で進める創薬研究（創薬支援ネットワーク産学円形フォーラム）（主催）、2019. 2. 7 1st Translational and Regulatory Sciences Symposium（主催）
- ③ 総合 Web site の公開：キャタリストユニットの HP（日本語版、英語版）を公開。各 AMED 事業の解説や、創薬に絡むコラムの掲載、e-Journal “TRS” の HP へのリンク付け、各種シンポジウム情報などを掲載。
- ④ AMED 事業の広報活動：各関連学会での創薬支援推進ユニットブース出展。実験医学、Nature への創薬ブースター広告掲載、創薬分野における Translational Research 専門用語ハンドブック公開、創薬ブースターアンケートの実施など。

3. 総合評価

学術雑誌の発刊、各種イベント開催など、研究者、社会への情報発信を遂行しており、当初の目標に対しては着実に業務を遂行し、成果を得ていると評価する。今後は、ユニットの特質から、日本発の新しい創薬、グローバル展開を考えた大きなミッションについて取り組むために、積極的に海外の機関との広報活動を実施していただきたい。学術雑誌については、既刊誌との差別化のための様々な工夫を行うことで、日本の国際発信力の強みとなってくれる可能性がある。